



話してみませんか? あなたの心配

幼児から高校生相当年齢の方を対象に、ご本人や保護者のどちらの方からもご相談を受けています。

☎ 電話相談

教育相談一般
(東京都いじめ相談ホットライン)

いじめの相談以外にも子供の友人関係・学校生活・不登校の悩みや不安、子育て・家族関係・発達障害・自傷行為・家庭内暴力・体罰等のご相談を受けています。

☎ 0120(53)8288
24時間受付

高校進級・進路・入学相談

都立高校等への入学や転学・編入学、高校中途退学後等のご相談を受けています。

☎ 03(3360)4175
平日 9時~21時 土日祝日 9時~17時

英語、中国語、韓国・朝鮮語の通訳を介した相談

教育相談一般 (東京都いじめ相談ホットライン)
☎ 0120(53)8288
高校進級・進路・入学相談
☎ 03(3360)4175
毎週金曜日 13時~17時 (受付は16時まで)

来所相談 (事前に上記の電話番号でお申し込みください。)

平日 9時~18時 毎月第3土曜日 9時~17時

平日 9時~17時

毎週金曜日 13時~17時 (受付は16時まで)

✉ メールによる相談

ホームページ上のフォームよりご利用できます。

<http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp/>

スマートフォン向けアプリ「**こころ空模様チェック**」から教育相談一般(東京都いじめ相談ホットライン)に電話をかけることができます。

※ダウンロードは「考えよう! いじめ・SNS @Tokyo」からできます。

考えよう いじめ SNS

<http://ijime.metro.tokyo.jp/>

☎ 電話相談

青少年リスタートプレース

高校を中途退学した方、高校での就学経験のない方、また、進路選択を控えながらも中学校で不登校の状態にある方やその保護者を各種事業で支援しています。

☎ 03(3360)4192
平日 9時~17時

※教育相談一般(東京都いじめ相談ホットライン)のみ、祝日・閉庁日・年末年始でも受付しています。
※教育相談一般<有料>は、東京都いじめ相談ホットラインと一本化してフリーダイヤル化しました。
※教育相談一般の旧電話番号03(3360)8008は、利用できなくなりましたのでご注意ください。

☎ 電話相談

学校問題解決サポートセンター

都内の公立学校(幼稚園、認定こども園を含む)と保護者や地域住民との間で生じた問題に関し、学校等へ相談しているだけでは解決困難な場合にご相談を受けています。

☎ 03(3360)4195
平日 9時~17時

問合せ先

東京都教育相談センター
新宿区北新宿四丁目6番1号
(東京都子供家庭総合センター4階)
電話 03(3360)4181 **ファクシミリ** 03(3360)4198

「自撮り被害」を防止しよう

青少年がだまされたり脅されたりして、自分の裸体等を撮影し、メール等で送られる、いわゆる「自撮り被害」が多発しています。

- 裸体等の画像を青少年に不当に求めることは犯罪です!
- 青少年は求められても画像は送らないことが大切です。
- 画像の送信後でも、早く対応すれば拡散を抑えることができます。
- 困ったら都の相談窓口「こたエール」に相談しましょう。



インターネット なやみゼロに

☎ 電話相談 0120(1)78302

※平成30年4月1日から電話番号がフリーダイヤルになりました。

✉ メール相談 24時間受付

問合せ先 青少年・治安対策本部総合対策部青少年課
電話 03(5388)3186 **ファクシミリ** 03(5388)1217

東京都立図書館ホームページが学習・読書に役立ちます!

<http://www.library.metro.tokyo.jp/>

平成30年3月にリニューアルした東京都立図書館ホームページは、さらに分かりやすくなり、新たなコンテンツも追加しました。

学習や読書活動に役立つ情報がいっぱい

- 中高生のための「青少年ページ」
- 「はじめてのレポート・論文作成ガイド」を掲載
- 中高生向けブックリスト「扉をあけて」「羅針盤」など

オリンピック・パラリンピックの学習情報がパワーアップ

オリンピック・パラリンピックや世界の国々について学ぶのに役立つブックリスト

キャリアデザイン、英語多読棚

都立多摩図書館では、児童書や中高生世代向けの本が豊富です。キャリアデザインに役立つ本や、英語多読の本も所蔵しています。

問合せ先 東京都立中央図書館 電話 03(3442)8451 **ファクシミリ** 03(3442)9500
東京都立多摩図書館 電話 042(359)4020 **ファクシミリ** 042(359)4121



11月の第1土曜日は「東京都教育の日」です



東京都教育委員会ではTwitterによる情報発信を行っています
https://twitter.com/tocho_kyoiku

とうきょうの教育

第114号
中学校版
平成30年5月



「とうきょうの教育」は、東京都教育委員会(教育庁)のホームページでも読むことができます。

ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/index.html>

東京都教育委員会(教育庁)では、都民の皆さまからの提言やご意見・ご要望をメールで受け付けておりますので、お寄せください。

将来の夢の実現に向け多様な学びができる 全日制総合学科高校の魅力を紹介します

- 「全日制総合学科高校」は、個性を大切にすることでキャリア教育を重視し、普通科目に加えて、様々な科目を学べる単位制の学校です。
- 具体的には、国語や数学などの科目だけでなく、工業・商業・農業・福祉・看護・美術などの専門的な科目や学校独自の「学校設定科目」まで、バラエティー豊かな選択科目の中から選び、「自分の進路に合った時間割」を作り、「自分の興味や進路希望に応じた学び」ができます。
- 自らの課題を決めて取り組む「課題研究」では、問題解決力を養いながら、自らの豊かな人生や未来社会を開拓していく力を身に付けることができます。

1年次
将来を考える

- 総合学科の全ての生徒が学ぶ科目「産業社会と人間」において、体験学習やディスカッション・ディベート等を通して将来の生き方や進路を考えます。
- 生徒一人一人への丁寧な進路相談により、主体的に学ぶ意欲や態度を伸ばし、志望する進路や自分の進路に合った時間割を考えます。

2年次・3年次
自分の進路に合った時間割/探究活動

国際関係の仕事に就きたいAさん



学習方針の例

英語を中心に語学力を高めながら日本と世界を広く理解し、世界に通用する総合的な力を身に付けたい。

科目選択の例

英語表現、英語演習、英米文学、時事英語、中国語、時事問題、異文化理解

課題研究のテーマ例

「国際社会で起こる諸問題」

福祉・看護の分野で働きたいBさん



学習方針の例

福祉・看護分野の基礎を体験的に学ぶ科目と理系科目を多く履修し、進学や進学の先での学びに備えたい。

科目選択の例

福祉総合、看護基礎、介護支援、点字・手話、食文化、生物、化学、数学

課題研究のテーマ例

「健康寿命を延ばすには」

デザイン系の仕事に就きたいCさん



学習方針の例

デザインの知識・技能だけでなく、日本の美についても深く知り、オリジナル商品を企画する力を身に付けたい。

科目選択の例

基礎デザイン、素描と構成、フードデザイン、工芸、絵画表現、ファッション造形、日本の伝統・文化

課題研究のテーマ例

「和菓子のデザインと色彩」

生徒一人一人の志望に応じた進路を実現します。

全日制総合学科高校は10校

全日制都立高校には10校の総合学科高校があり、各校で特色ある選択科目を用意しています。各校の様子はホームページをご確認ください。
つばさ総合、世田谷総合、杉並総合、王子総合、晴海総合、葛飾総合、町田総合、青梅総合、東久留米総合、若葉総合

都立高等学校



目次

全日制総合学科高校の魅力を紹介します	1
平成30年度東京都教育委員会の主な事業を紹介します	2・3
TOKYO GLOBAL GATEWAY	2・3
学校における働き方改革を推進します	3
話してみませんか? あなたの心配	4
「自撮り被害」を防止しよう/都立図書館ホームページ	4

この印刷物には、視覚に障害のある方への情報提供の手段として、音声コードを添付しています。こちらの音声コードにより、活字文書読み上げ装置を使って、内容を聞くことができます。



とうきょうの教育 第114号 平成30年5月発行

- 編集・発行 東京都教育庁総務部教育情報課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5320)6733 **ファクシミリ** 03(5388)1725
- デザイン 株式会社エデュケーション・ネットワーク
- 印刷 株式会社清光社



平成30年度

東京都教育委員会の主な事業を紹介します

東京都教育委員会の教育目標である「東京都教育ビジョン(第3次・一部改定)」で示した「7の柱・10の取組の方向性」に基づき、平成30年度教育庁主要施策を定めました。主な事業の中から、中学校に関連した取組を中心に紹介します。

知

① 個々の子供に応じたきめ細かい教育の充実

■基礎的な学習内容を習得するため「東京ベーシック・ドリル」及び同ソフトを活用して基礎・基本の定着を図ります。

② 世界で活躍できる人材の育成

■効果的な少人数・習熟度別指導の充実に向けて、都独自に作成した「パフォーマンス・テスト」を各学年で実施し、「使える英語力」の定着と伸長を図ります。

■英語を使用する楽しさや必要性を体感しながら、体験的・実践的な学習を行う場として「TOKYO GLOBAL GATEWAY」を平成30年9月に開設します。



徳

③ 社会的自立を促す教育の推進

■学校、家庭及び地域社会が一体となって、子供たちの豊かな心を育むため、小・中学校等において「道徳授業地区公開講座」を実施します。また、道徳教育に関する保護者向けDVD教材も活用し、講座の内容の充実を図ります。「特別の教科 道徳」の全面实施に向けて、道徳教育の一層の充実を図ります。



④ 子どもたちの健全な心を育む取組

■いじめ問題などに悩む子供たちやその保護者等からの相談体制を強化するため、いじめ相談ホットライン(無料)と教育電話相談(有料)をフリーダイヤルに一本化します。

■自殺予防教育の充実を図るために作成したDVD教材を活用し、「SOSの出し方に関する教育」を実施します。

■「いじめ総合対策(第2次)」に基づき、各学校において、いじめの早期発見、早期対応等の対策を確実に推進します。

学校

⑦ 教員の資質・能力を高める

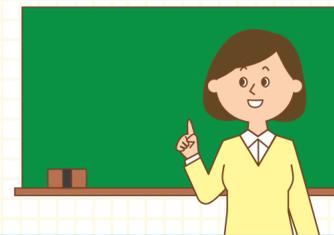
■現職教員の資質・能力の向上を図るため、教員が主体的に視聴できる研修動画の配信などを行います。

■全ての教員が自己のキャリアについて考えることができる研修履歴自己管理システム「マイ・キャリア・ノート」の活用を推進します。

⑧ 質の高い教育環境を整える

■教員一人一人が心身の健康を保ち、誇りとやりがいをもって仕事ができる環境を整備することが重要であるため、学校教育の質の維持向上を目的として「学校における働き方改革」に取り組みます。(詳細は下段をご覧ください。)

■発達障害のある児童・生徒が在籍校で特別な指導を受けられるようにするため、小・中学校において特別支援教室の導入を推進します。



家庭

⑨ 家庭の教育力向上を図る

■地域の人材を活用して、子供たちや保護者の相談に応じる「家庭と子供の支援員」を配置し、子供たちが抱える様々な問題や、保護者の不安や悩みの解消等を図ります。



体

⑤ 体を鍛え健康に生活する力を培う

■「アクティブプラン to 2020 -総合的な子供の基礎体力向上方策(第3次推進計画)-」に基づき、運動・スポーツに親しむ元気な子供たちを育成するために、子供たち一人一人の基礎体力の向上に全校で取り組みます。

■健康づくりの推進として、「がん教育リーフレット」を配布して各学校での活用を促し、がん教育の充実を図ります。



オリンピック・パラリンピック教育

⑥ 東京オリンピック・パラリンピック教育の推進

■都内全ての公立学校において、引き続きオリンピック・パラリンピック教育を推進し、「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の五つの資質を重点的に育成します。

■特別支援学校と小・中・高等学校の障害者スポーツによる交流大会を開催し、障害者への理解と障害者スポーツの普及を一層進めます。

地域・社会

⑩ 地域・社会の教育力向上を図る

■子供たちの安全・安心な居場所であるとともに、放課後の体験・学習活動等の充実を図るため、外部人材を活用した小・中学校における「放課後子供教室」や「地域未来塾」の取組を推進します。

平成30年度 東京都教育委員会の予算

平成30年度の東京都教育委員会の予算額は8,184億円で、東京都の一般会計予算7兆460億円の約12%を占めています。詳しくは「平成30年度の教育予算」をご覧ください。

「平成30年度の教育予算」



問合せ先

詳しくは「施策」をご覧ください。



東京都英語村 TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) は いよいよ9月に臨海エリアにオープン! ~4月から一般利用の予約を始めました!~

東京都教育委員会では、児童・生徒が英語を使う楽しさや必要性を体感でき、学習意欲を自ら高めることを目的に、体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」の開設準備を、今年9月のオープンに向けて進めています。

4月から一般利用の予約受付を始めました。

どのようなプログラム?

■レストラン、ホテル、カフェなど、海外にいるかのような空間で、日常生活でのコミュニケーションを体験できます。
■擬似留学プログラムの他、一般利用専用のプログラムも順次提供します。

どのような利用形態?

■学校以外の一般向けサービスとして、個人、家族、友人、学習塾など様々な形態で体験することができます。

予約ができる利用時期は?

■平成30年9月から12月の利用分まで予約できます。(平成31年1月以降の申込みは利用日の3か月前から。)



利用するプログラムによって料金異なります。利用料金、サービス内容、予約方法など詳しくはこちら。

TGGウェブサイト

メールマガジンのほか、SNSでの情報発信も行っています。



東京都教育委員会は学校における働き方改革を推進します!

- 昨年、東京都教育委員会が実施した教員勤務実態調査において、いわゆる「過労死ライン」相当にある教員が多数存在することが明らかになりました。
- こうした教員の長時間労働を改善するため、本年2月、東京都教育委員会は「学校における働き方改革推進プラン」を策定しました。
- 東京都教育委員会は、保護者や地域社会の皆様のご理解とご協力の下、区市町村教育委員会や各学校とも連携し、組織を挙げて学校における働き方改革に取り組んでいきます。

※過労死ラインとは

厚生労働省「脳血管疾患及び虚血性心疾患等(負傷に起因するものを除く。)の認定基準」において、発症前1か月間に100時間又は2~6か月間平均で月80時間を超える時間外労働が認められる場合は、業務と発症との関連性が強いとされている。

●今後、本プランの取組を着実に推進し、教員が心身共に健康な状態で子供たちの指導にあたることができるようにしていきます。

●また、教員が自己研さんの時間をもてるようにすることで、授業や指導の質を高め、学校教育の更なる質の維持・向上に繋がっていきます。

詳細はホームページをご覧ください。

「学校における働き方改革推進プラン」



問合せ先 (株) TOKYO GLOBAL GATEWAY 電話 0120 (86596) 1

TGG 英語村

検索

問合せ先

教育庁総務部教育政策課

電話 03 (5320) 6713

ファクシミリ 03 (5388) 1725